

常陸大宮市生活支援体制整備事業

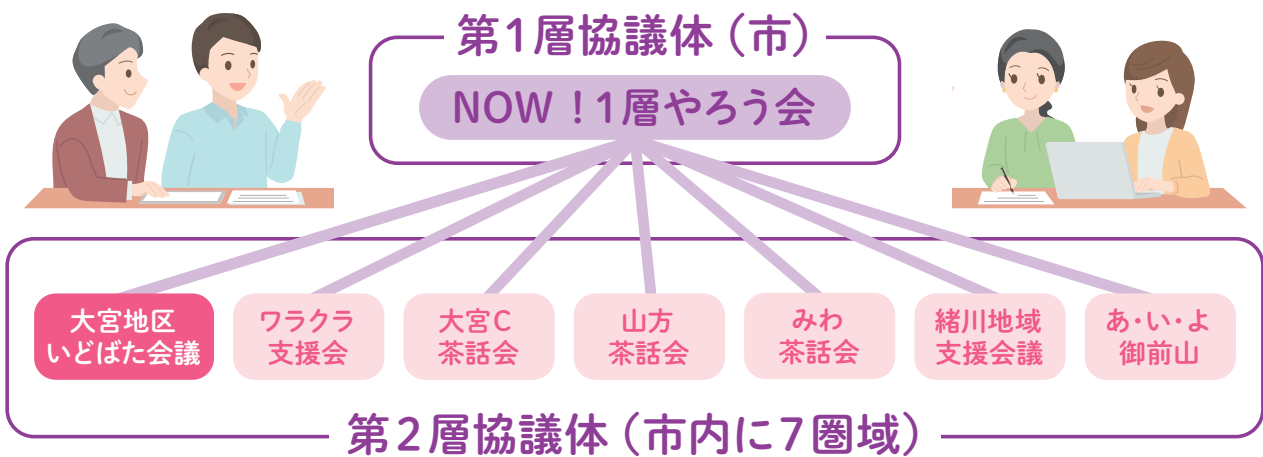
高齢者が住み慣れた地域で安心して元気に暮らせるよう、住民主体での助け合い・支えあう地域づくりに取り組む「生活支援体制整備事業」が全国で展開されています。

地域ごとの話し合いや情報交換の場づくり、仕組みづくり等を行うことによってさまざまな生活課題解決や生きがいづくりに向けた住民同士のきめ細かい助け合い活動等を実現するための事業です。

常陸大宮市では、市全体のことを話し合う第1層協議体と、生活圏域のことを話し合う第2層協議体を設置しています。

第2層協議体では、地域住民の活動（資源）を共有したり、地域の「あったらいいね」などをその地域ならではの支え合いの仕組み作りをできる範囲で考えたり、話し合ったりしています。

市では7ヶ所で第2層協議体が活動しています。それぞれの協議体の様々な活動の様子を今号から4回で紹介しします。



大宮地区いどばた会議

圏域 大宮第1区～第12区

月に1度「カフェテリアエルマウ」に集まり、第2層協議体の生活圏域で起きている困りごとの解決や地域の情報交換など、地域を良くする話し合いを行っています。

第54回開催（掲載時）と、長く続ける秘訣は、井戸端会議のような集まりにしているところです。話し合いだけではなくリース作りなどしてメンバー同士交流を深めています。



4/16東志会の行った地域のお花見



楽しいリース作り



4/11の第52回いどばた会議

4月のいどばた会議で、コロナ以前に行っていた行事が3年ぶりに再開する話題から、早速取材をしました。

4/16（日）東富公民館で開催された「東志会」（昔！子供会の親が卒業するタイミングで作った会）のお花見です。地域の方が参加して楽しい時間をすごしました。

東志会は年に数回住民が集まり交流をしたり、廃品回収などをして地域に貢献する活動をしています。

だんだんと日常が戻り、地域のつながりも戻ってきて、次回は高齢者クラブに声をかけて賑やかにできることを願っています。

「大宮地区いどばた会議」では、参加してくださる方を募集しています。興味のある方は開催日を市社協53-1125までお問い合わせください。